

第1回「新・関西観光・文化振興計画 (仮称)」策定委員会 説明資料



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

広域観光・文化・スポーツ振興局

策定の趣旨・目的、計画期間

【趣旨・目的】

関西の観光、文化振興の戦略的取組の方向性と重点施策を明らかにするもの。新型コロナウイルスの影響や国の動向等に注視するとともに、大阪・関西万博の開催や文化庁の関西移転等を踏まえた計画とする。

【計画期間】

令和4年（2022年）4月～令和9年（2027年）3月までの5年間

※社会情勢に応じて適宜見直しを図る。

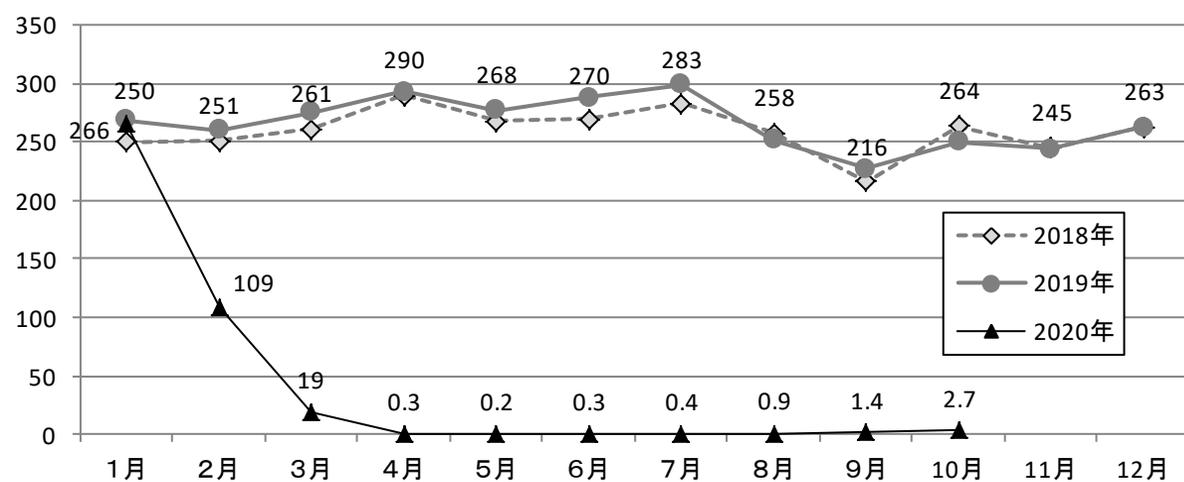
策定スケジュール

年月日		内容
令和2年	12月以降	策定委員会の開催（全7回開催予定）
令和3年	8月～9月	中間案について報告（連合委員会、連合議会）
令和4年	9月以降	パブリックコメントの実施
	1月	最終案について報告（連合委員会）
	3月	新計画案の上程、策定（連合議会）

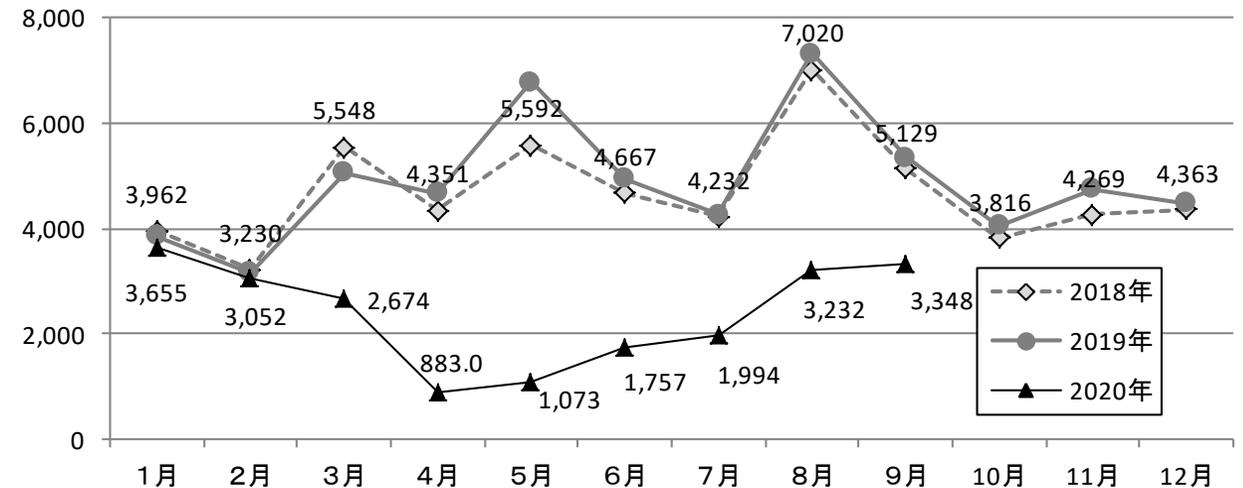
関西の観光・文化を取り巻く状況

新型コロナウイルス感染症等の影響（観光）

インバウンドは激減、国内旅行は回復傾向にあるが低調に推移



月別訪日外国人数の推移（2018～2020）



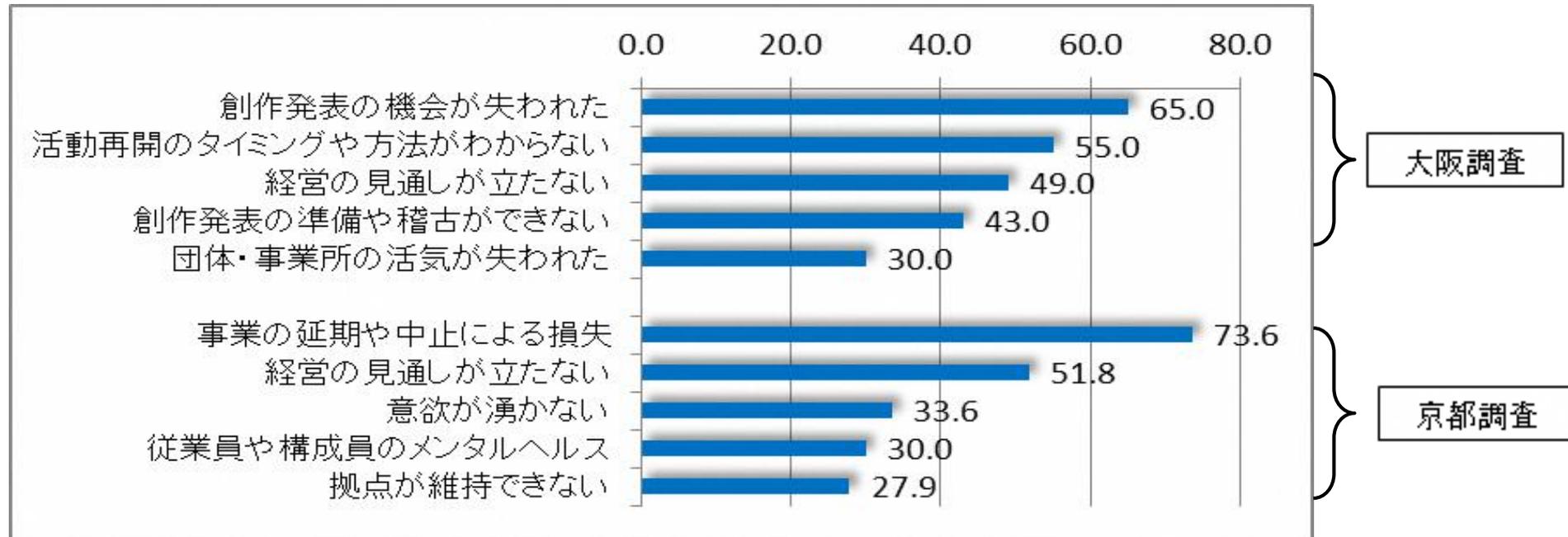
日本人月別国内延べ旅行者数（2018～2020）

関西の観光・文化を取り巻く状況

新型コロナウイルス感染症の影響（文化）

芸術活動の機会が（発表機会、収益損失）が大きく減少

「一般財団法人おおさか創造千島財団」及び「京都・京都芸術センター」調べ
現在困っていること（両調査で項目は異なる。上位項目を抜粋／％）

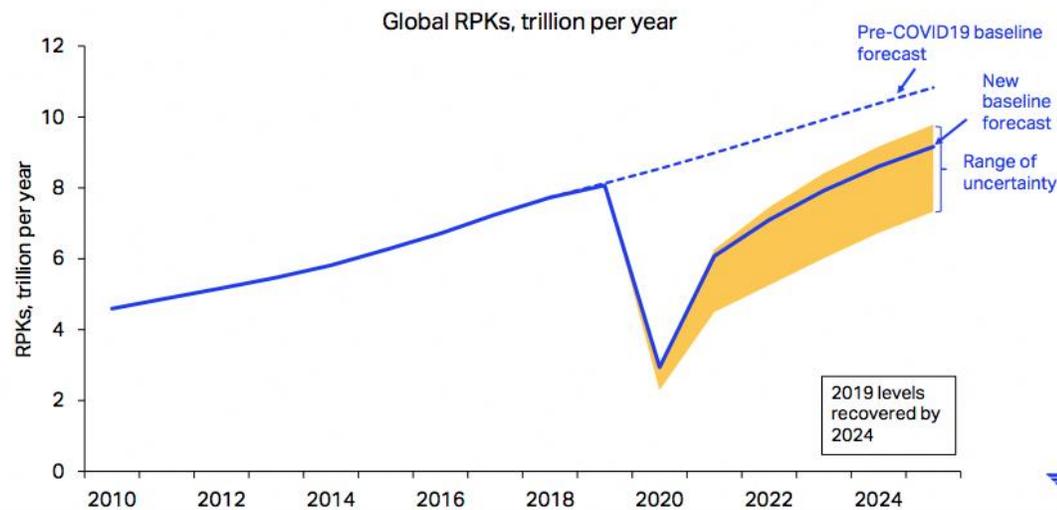


関西の観光・文化を取り巻く状況

インバウンドの早期回復は難しい状況

国際航空運送協会（IATA）は、世界の航空需要が新型コロナウイルス発生以前の水準に回復するのは、2024年になるとの見通しを示している（2020年7月公表）。

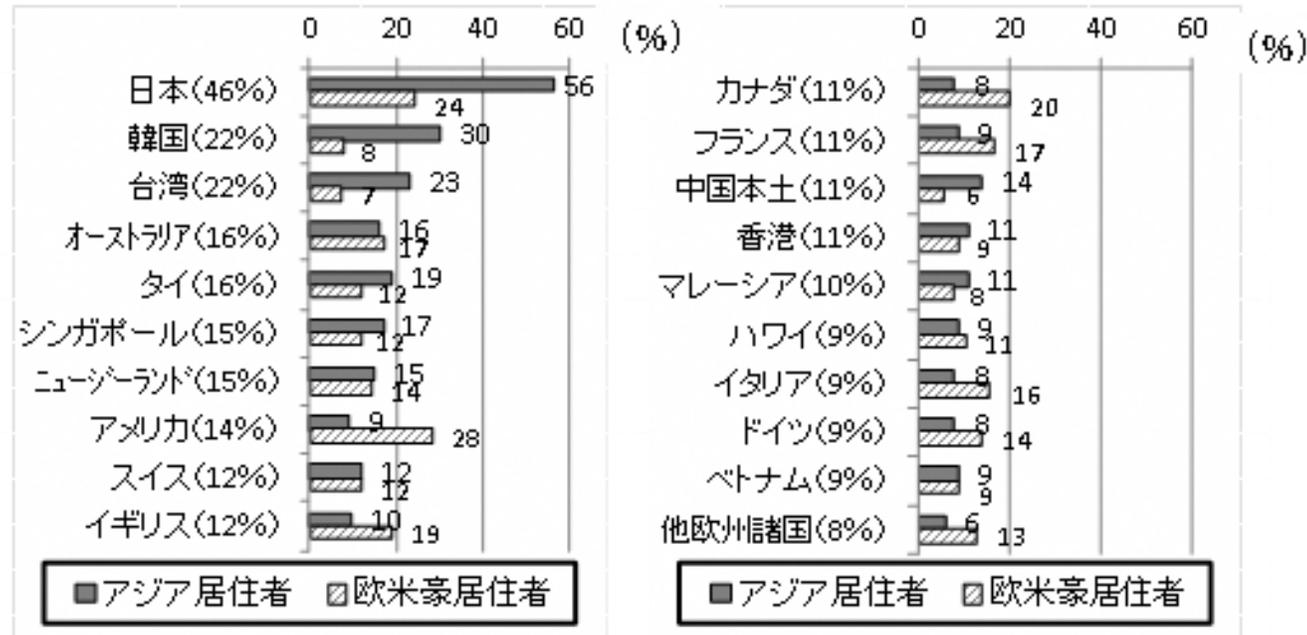
RPK forecasts downgraded; 2019 regained only by 2024
75% growth now forecast for 2021 but RPKs still 36% below 2019 levels



関西の観光・文化を取り巻く状況

コロナ収束後の旅行先として、日本が上位

新型コロナ終息後に旅行したい国・地域として、日本はアジア居住者でトップ、欧米豪居住者でもアメリカに次いで2位の人気（2020年度 DBJ・JTBF調査）



関西の観光・文化を取り巻く状況

芸術文化活動の本格的な再開は難しい状況

政府はイベントの開催制限（人数上限及び収容率要件）を
来年2月末まで継続

時期		収容率	
12月1日～ 当面来年2月末まで	イベントの種類	大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの ・クラシック音楽コンサート、演劇等、 舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、 公演・式典、展示会 等 ・ 飲食を伴うが発声がないもの （注2）	大声での歓声・声援等が 想定されるもの ・ロック、ポップコンサート、 スポーツイベント、 公営競技、公演、 ライブハウス・ナイトクラブでの イベント 等
		100%以内 (席がない場合は適切な間隔)	50%（※）以内 (席がない場合は十分な間隔)

注1：人数上限については現行と同様とする。

注2：これまで、「イベント中の食事を伴う催物」は、大声での歓声・声援等が想定されるものと扱ってきたが、今後、必要な感染防止策が担保され、イベント中の発声がない場合に限り、イベント中の食事を伴う場合についても、「大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの」と取り扱うことを可とする。

（※）ただし、異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ（5人以内に限る。）内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

関西の観光・文化を取り巻く状況

新型コロナの影響による旅行ニーズの変化

- **旅行者に対する地域住民の不安**
観光客、観光事業者、受け入れ地域の3者によるコンセンサスが重要
- **新たな生活様式に沿った旅行スタイル**
安心・安全の訴求、自然やアウトドアなど3密を回避した旅行モデル、ICTを活用した観光サービスの提供の拡大など
- **半定住需要の顕在化（ワーケーションに注目）**
リゾート地や温泉地、長期滞在型施設等への需要に期待

関西の観光・文化を取り巻く状況

関西の伝統文化の担い手の減少

- ・ 子供たちが身近に伝統文化に親しむ機会が増えていない
- ・ 関西の伝統文化の担い手が減少

芸術文化への理解促進

- ・ 博物館・美術館への国外来訪者は、2014年の16%から2019年の29%と増加傾向（観光庁「訪日外国人消費動向」）
- ・ 一方、文化施設において国内外の来訪者に文化資源の価値をわかりやすく伝える取組が不十分

関西の観光・文化を取り巻く状況

2022年文化庁の関西移転

2017年に文化庁が一部が先行移転。本格移転は、2022年度中の業務開始を目指している。

2025年大阪・関西万博の開催

開催期間：2025年5月3日(土)～11月3日(月) 185日間

開催場所：大阪 夢洲(ゆめしま)

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

想定来場者数：約2,800万人



国の動き

「観光ビジョン実現プログラム2020」 (7月14日策定)

目標：2030年 6,000万人

- 1 観光消費の8割を占める国内の観光需要の喚起と観光関連産業の体質強化
- 2 反転攻勢に転じるための基盤整備
- 3 国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からのインバウンド促進

ビジネストラックの運用

シンガポール (9月18日～)、韓国 (10月8日)、ベトナム (11月1日～)、中国 (11月30日～) と運用開始

国の動き

文化庁移転を見据えた機能強化

- ・ 2017年3月に文化庁地域文化創生本部を京都に設置
 - ・ 2018年10月に総合的な文化行政の推進に向けた機能強化と関西移転を見据え、文化庁の組織を再編
- 食文化と文化観光を推進する担当部署を新設

文化観光の推進

「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」2020年5月施行（文化庁）

- ①文化資源を保存・活用し、②文化についての理解を深め、③観光を推進

関西のポテンシャル

- 6つの世界遺産をはじめ、歴史、文化遺産、伝統文化、自然、ジオパーク、食など多彩な観光資源が集積
- 関西国際空港を玄関に発達した鉄道網、高速道路網が整備されるなど関西圏のアクセスが容易 など
- 今後、北陸新幹線やリニア中央新幹線の開通など関西圏へのアクセスが向上



現計画の成果と課題

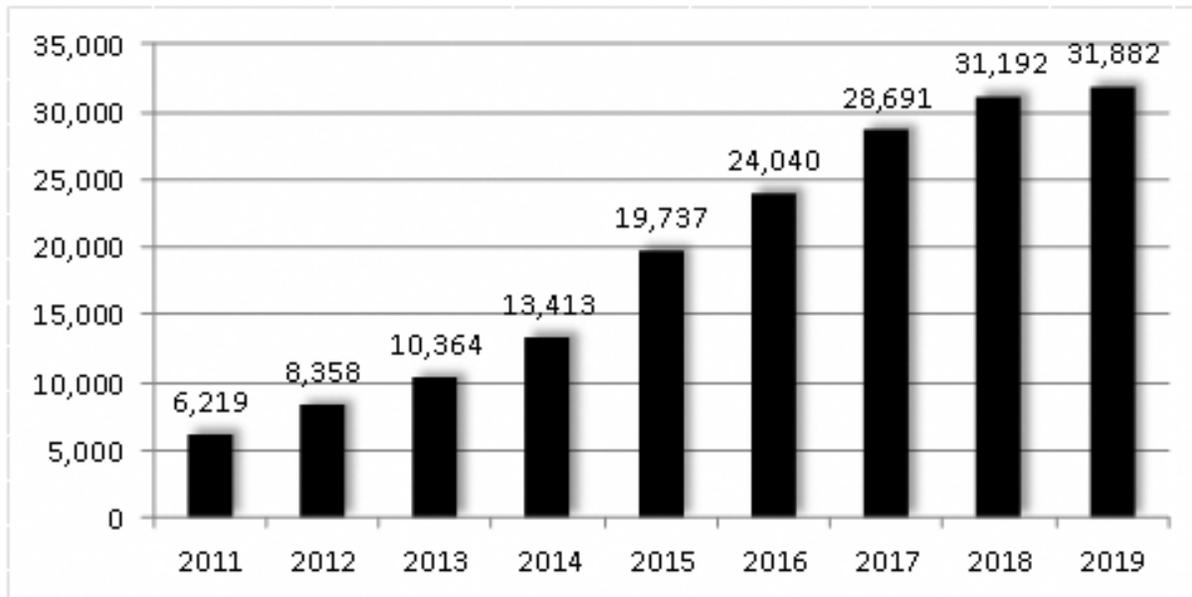
【現計画のKPI】

	2013年 (改定時)	2019年 (実績)	2020年 (目標)
関西への 訪日外客数	約345万人	約1,300万人	1,800万人
関西での 訪日延べ宿泊者数	約793万人泊	約2,700万人泊	3,700万人泊
関西での 訪日外国人旅行消費額	約4,700億円	約2兆円	3兆円
関西への 訪日外国人訪問率	33.3%	41.4%	45.0%

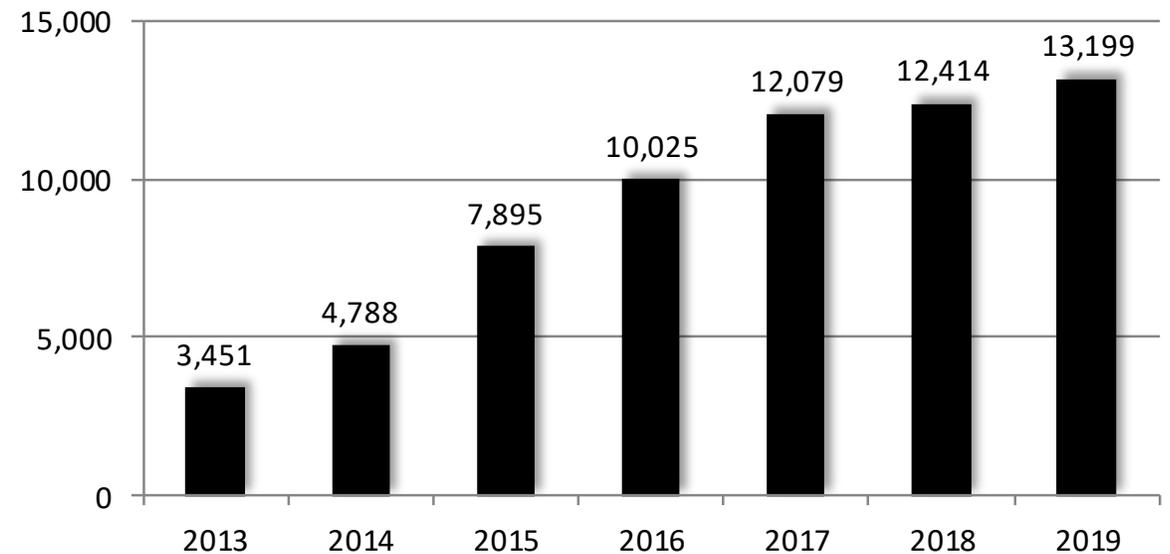
現計画の成果と課題

【K P I / 訪日外客数】

- ・ 2019年の訪日外客数は、3,100万人（過去最高）
- ・ 関西への訪日外客数（推計値）は、約1,300万人



訪日外客数



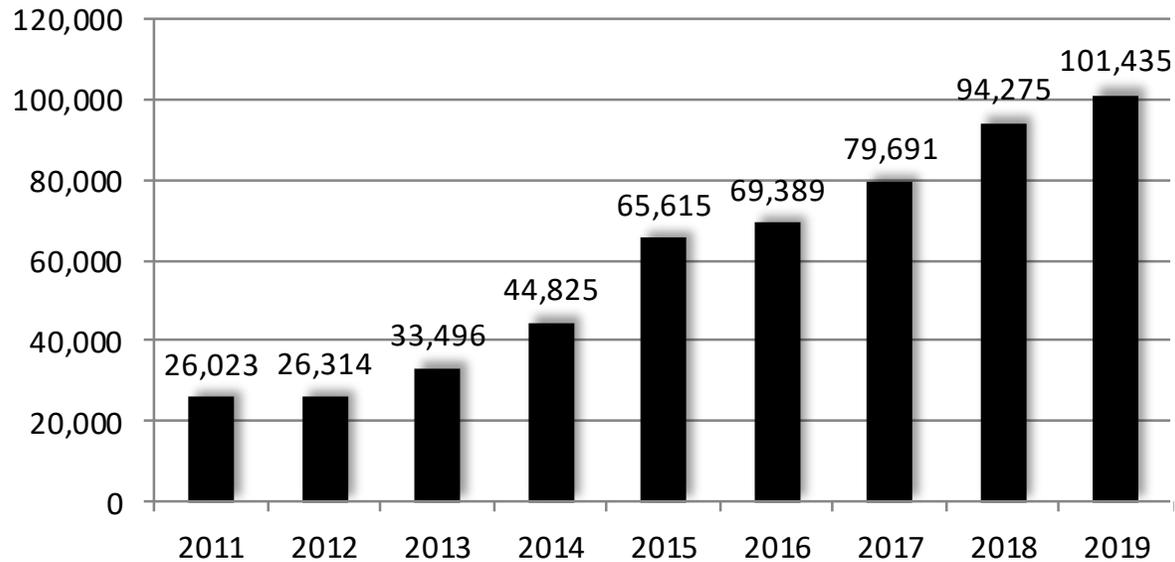
関西への訪日外客数（推計値※）

※訪日外客数×関西訪問率

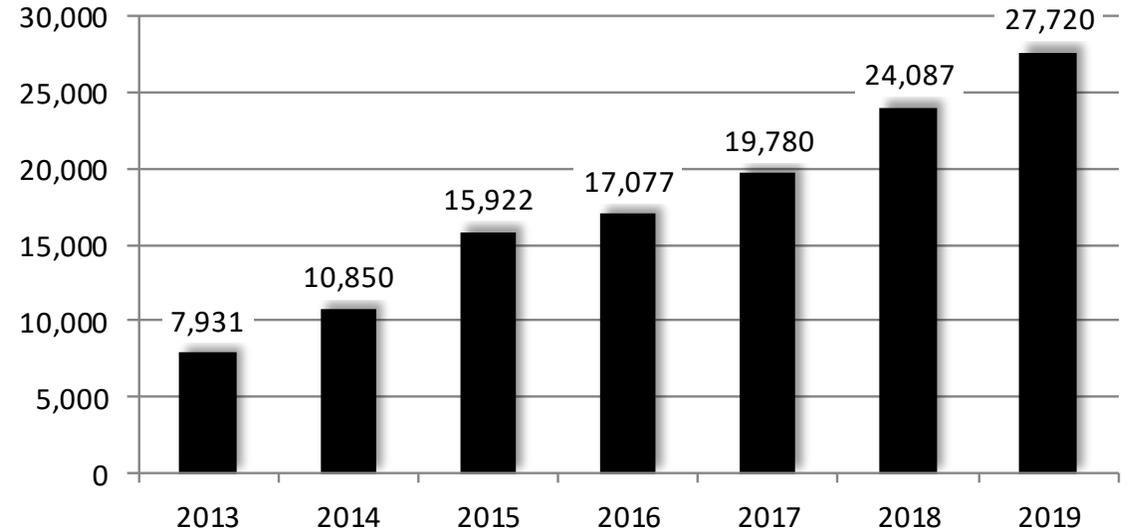
現計画の成果と課題

【KPI / 訪日延べ宿泊者数】

- ・ 2019年の訪日延べ宿泊数は、1億人泊を突破
- ・ 関西への訪日延べ宿泊者数は、約2,700万人泊



訪日外国人延べ宿泊者数の推移

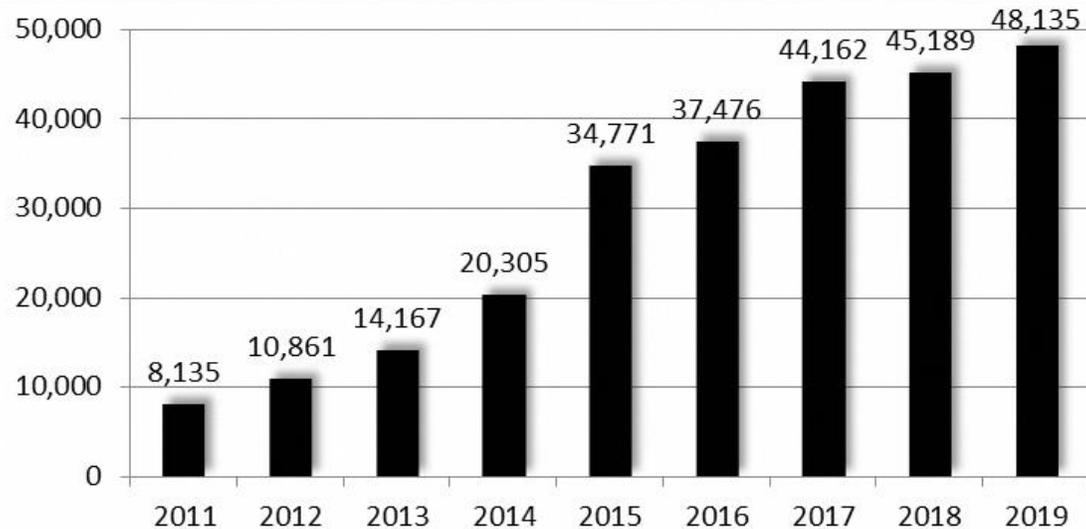


関西での訪日外国人延べ宿泊者数の推移
(近畿運輸局管内)

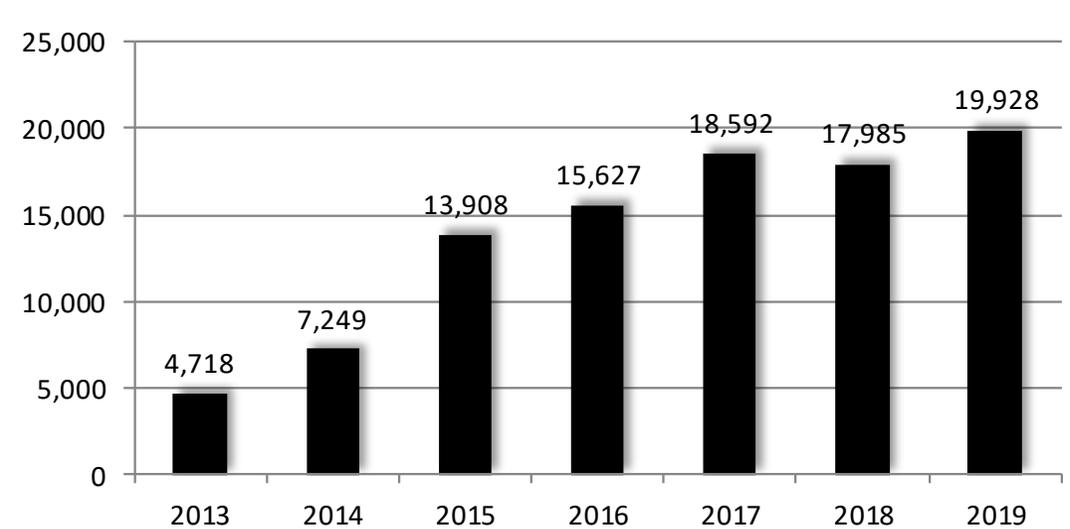
現計画の成果と課題

【K P I / 訪日外国人の旅行消費額】

- ・ 2019年訪日外国人の旅行消費額は4兆8,000億円
- ・ 関西での訪日外国人の旅行消費額（推計値）は、約2兆円



訪日外国人旅行消費額の推移



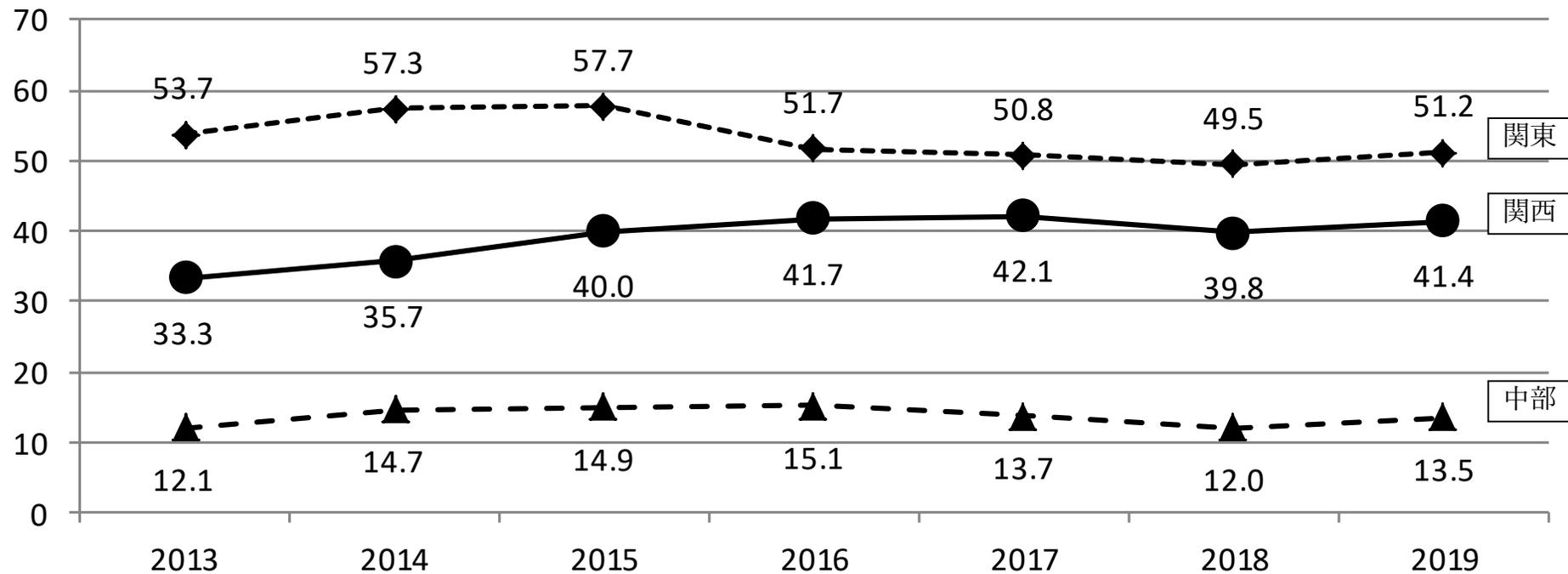
関西での外国人旅行消費額（推計値※）

※外国人旅行消費額×関西訪問率

現計画の成果と課題

【K P I / 訪日外国人の地方別訪問率】

- ・ 関西への訪問率も長期的には拡大傾向



訪日外国人の地域別訪問率の推移

現計画の成果と課題

【主な成果/観光】

- ・ 2019年まで関西のインバウンドは好調に推移
- ・ 官民一体の取組を着実に推進

(官民一体の取組例)

「KANSAI ONE PASS」の運用 (2016年4月)

「KANSAI Wi-Fi (Official)」の運用 (2016年10月)

一般財団法人関西観光本部の設立 (2017年4月)

官民のトップセールにより、カンタス航空の関空ーシドニー直行便の実現 (2018年)

四川航空の関空ー西安直行便の増便 (2019年) など



現計画の成果と課題

【主な成果/観光】

一般財団法人関西観光本部の設立

- ◆ 2017年4月1日設立
- ◆ 関西の各府県・政令市、経済団体、観光団体、国の地方支分部局など官民の62団体および事業者約200社が参画
(福井県、三重県、鳥取県、徳島県を含む10府県が対象エリア)
- ◆ 関西全域へのインバウンド（外国人旅行者）誘客を推進

現計画の成果と課題

【主な成果/文化】

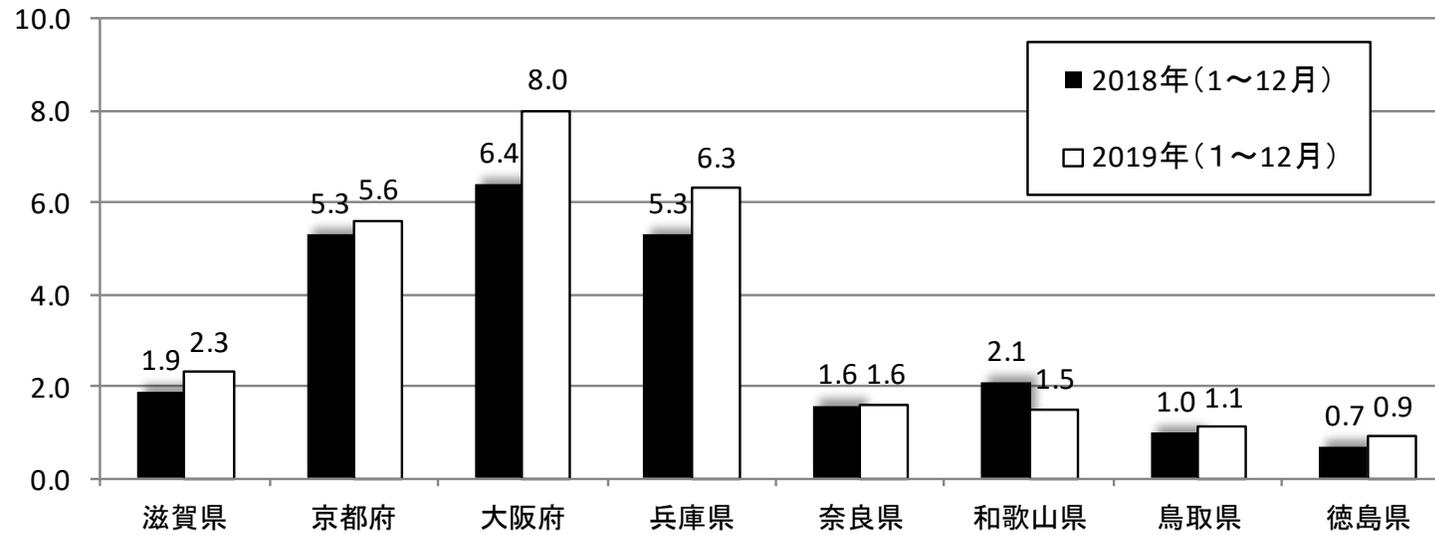
- ・ 2016年度より3箇年、はなやか関西「文化の道」事業として、首都圏において関西の芸能を実演する文化イベントを開催するなど、関西文化の魅力を発信
- ・ 歴史文化遺産フォーラムの開催やWEBにより、関西の世界遺産や日本遺産等を一体的に情報発信し、多くの方へその価値を広め、観光資源としての活用機運を醸成
- ・ 2020年度より「関西文化の日」に合わせ、「KANSAI NIGHT MUSEUM（夜間開館）」を開催するなど関西のミュージアム連携を促進



現計画の成果と課題

【主な課題/観光】

- ・ 構成府県の訪問率の格差が大きく、更なる周遊観光の促進が必要



構成府県市における訪問率

現計画の成果と課題

【主な課題/文化】

- ・ 未来の芸術文化の担い手を育成する取組が必要
- ・ 文化施設や舞台芸能等における、地域住民を含めたりピーターを増やす取組が必要
- ・ 国内外の方々に芸術文化の理解を促進する取組が必要

現計画の成果と課題

【主な課題/観光・文化共通】

- ・文化庁の関西移転や、大阪・関西万博に向け、他分野との連携した取組が必要
- ・関西の多彩な文化資源を活用した文化観光を強く推進する取組が必要



2020.1.6 (Mon) 10:00AM ~ (JST)

WMG2021アーリーエントリー受付開始 / Early Entry will open.

